

税制研究

No. 72 (再刊第32号) 2017年8月

【特集号】「共謀罪」と税務行政

I 「共謀罪」と税務行政

- 「共謀罪」と税務行政……………湖東 京至 (1)
 税務行政と煽動罪……………浦野 広明 (11)
 「共謀罪」法と税金……………八代 司 (20)
 国税通則法に編入された犯則調査手続の問題点……………小田川豊作 (28)

II 論説

- 憲法と課税権の限界
 - 憲法30条の再評価を求めて -……………阿部 徳幸 (37)
 「財政再建」を考える……………安藤 実 (46)
 グローバル資本主義と軍事大国・日本……………内山 昭 (54)
 法人税の課税ベースと消費課税……………浦野 晴夫 (66)
 法人税 公平な税制への転換
 累進課税で税収は25兆円……………菅 隆徳 (76)
 北朝鮮の影響下にある施設及び団体に対する
 課税と補助金支給に関する一考察……………高沢 修一 (88)
 タックス・ヘイブンによる課税逃れへの新たな挑戦
 - 革新的な改革を要する
 外国子会社合算税制 -……………富岡 幸雄 (97)
 公正処理基準と租税法律主義……………長島 弘 (140)
 北野理論の本質の一考察……………弓削 忠史 (154)

III 随想

- 『近世租税思想史』について……………中西 啓之 (163)
 漱石先生讃 漱石山房での“則天去私”問答……………瀬尾 英吉 (166)

- 資料 続・消費税増税日誌
 (2017年1月1日～6月30日)…………… (171)

谷山治雄記念財団
 税制経営研究所